平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月2日

上場会社名　ダイトエレクトロン株式会社　　上場取引所　東 大
コード番号　7609　URL　http://www.daitron.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 前　績行
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役　(氏名) 西田　富夫　TEL (06)6399-5041

四半期報告書提出予定日　平成24年8月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	18,666	△13.9	284	△66.8	337	△60.9	154	△78.7
23年12月期第2四半期	21,673	16.6	856	54.3	862	67.2	723	37.3

(注)包括利益　24年12月期第2四半期　203百万円　(△70.7%)　23年12月期第2四半期　694百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	13.99	―
23年12月期第2四半期	66.29	―

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	25,655	11,344	44.2
23年12月期	27,181	11,260	41.4

(参考) 自己資本　24年12月期第2四半期　11,341百万円　23年12月期　11,257百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	―	0.00	―	15.00	15.00
24年12月期	―	0.00			
24年12月期(予想)			―	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年 1月 1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,500	△0.1	500	△45.3	450	△49.6	230	△64.7	20.73

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期2Q	11,155,979 株	23年12月期	11,155,979 株
② 期末自己株式数	24年12月期2Q	59,419 株	23年12月期	149,997 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期2Q	11,036,043 株	23年12月期2Q	10,912,409 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は様々な要因によって予想と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
（４）追加情報 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）セグメント情報等 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間における世界経済は、欧州債務の財政危機問題に対する懸念や中国をはじめとする新興国の景気の減速等の影響を受け、大変厳しい状況で推移しました。また、日本経済においては東日本大震災の復興関連需要により緩やかながら回復の兆しが見えましたが、電力の安定供給に対する不安等が懸念材料となり、依然として先行きの不透明な状況が続きました。

当社グループの属しておりますエレクトロニクス業界におきましても、上記のような経済環境を受け、企業部門における設備投資需要の停滞が長期化するなど、総じて厳しい状況にて推移いたしました。

このような状況下、当社グループの業績につきましては、主要な市場であります産業用機械・設備市場において需要の低迷が長期化している影響を受け、加えて前年同期の業績が好調であったこともあり、売上、利益共に前年同期の実績を大幅に下回りました。

この結果、当社グループの当第２四半期連結累計期間の売上高は18,666百万円（前年同期比13.9％減）、営業利益は284百万円（前年同期比66.8％減）、経常利益は337百万円（前年同期比60.9％減）、四半期純利益は154百万円（前年同期比78.7％減）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりであります。

電子機器及び部品

当セグメントにつきましては、主要な市場であります産業用機械、設備市場におけるメーカーの生産調整や在庫調整の影響を大きく受け、業績は前年同期の実績を下回りました。しかしながら、主力商品であります「電子部品＆アセンブリ商品」のコネクタやハーネス、「画像関連機器・部品」のＣＣＤカメラ、「エンベデッド（組み込み用ボード）システム」をはじめ、多数の商品群の需要が回復し始めました。また「情報システム」のＬＥＤ照明等のエコ商品は順調に伸長しつつあり、セグメント全体の業績は低調な推移に留まりましたが、前連結会計年度後半の厳しい状況からは回復傾向にあります。

この結果、当セグメントの売上高は10,382百万円（前年同期比15.5％減）、セグメント利益（営業利益）は253百万円（前年同期比63.2％減）となりました。

製造装置

当セグメントにつきましては、欧米経済の停滞による設備投資需要の減速や中国をはじめとする新興国の経済成長の鈍化の影響を受け、前連結会計年度から引続き厳しい状況にて推移いたしました。このような状況下ではありましたが「フラットパネルディスプレイ製造装置」の液晶パネル製造装置では前年同期の実績を上回りました。また「電子材料製造装置」のウェーハ面取装置等のオリジナル製品が当セグメントの業績確保に貢献いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は5,713百万円（前年同期比12.3％減）、セグメント利益（営業利益）は227百万円（前年同期比16.6％減）となりました。

国内子会社

当セグメントにつきましては、ダイトデンソー株式会社では、ハーネスアセンブリや画像機器専用ハーネス等が前連結会計年度後半から回復しつつあります。また、ダイトロンテクノロジー株式会社の耐水・耐圧コネクタ等の高機能コネクタ事業は底堅く推移いたしましたが、半導体製造装置や光デバイス製造装置等の製造装置事業は、中国をはじめとする新興国の経済成長の鈍化や欧米の景気減速による設備投資需要の低迷の影響を受け、低調に推移いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は1,131百万円（前年同期比2.2％減）、セグメント利益（営業利益）は63百万円（前年同期比62.0％減）となりました。

海外子会社

当セグメントにつきましては、北米市場を対象に事業を行っておりますダイトロン,INC.では、主力事業であります車両用ハーネス事業等において、また韓国市場を対象に事業を行っておりますダイトロン（韓国）CO.,LTD.やタイ及び東南アジア市場を対象に事業を行っておりますダイトロン（タイランド）CO.,LTD.では、一部の市場において、厳しい状況ながらも回復の兆しが見え始め、利益面において前年同期の実績を上回りました。

しかしながら、セグメント全体としては欧米の景気停滞によるアジア地域における各メーカーでの生産量の減少、及び価格競争の激化による利益率の低下等により、非常に厳しい状況にて推移いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は1,439百万円（前年同期比16.4％減）、セグメント損失（営業損失）は35百万円（前年同期は26百万円の損失）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における流動資産は20,416百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,489百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が436百万円増加し、現金及び預金が1,377百万円、流動資産その他が534百万円減少したことによるものであります。固定資産は5,239百万円となり、前連結会計年度末に比べ35百万円減少いたしました。これは有形固定資産が48百万円減少、無形固定資産が19百万円減少、投資その他の資産が33百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は25,655百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,525百万円減少いたしました。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における流動負債は11,222百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,535百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が392百万円、流動負債その他が1,086百万円減少したことによるものであります。固定負債は3,088百万円となり、前連結会計年度末に比べ73百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が179百万円減少し、退職給付引当金が85百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は14,311百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,609百万円減少いたしました。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産合計は11,344百万円となり、前連結会計年度末に比べ83百万円増加いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が46百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は44.2%となり、前連結会計年度末との比較で2.8ポイント上昇いたしました。

② キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます。）の残高は、前連結会計年度末と比較して1,377百万円減少し、5,917百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、資金は891百万円の減少（前年同期は1,111百万円の増加）となりました。減少の主な内訳は、前受金の減少額938百万円、売上債権の増加額420百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、資金は83百万円の減少（前年同期は37百万円の減少）となりました。減少の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出77百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、資金は411百万円の減少（前年同期は381百万円の減少）となりました。減少の主な内訳は、長期借入金の返済による支出190百万円、配当金の支払額164百万円であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成24年２月７日に公表いたしました予想数値からの変更はございません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,324,920	5,947,079
受取手形及び売掛金	9,712,469	10,149,279
商品及び製品	1,930,008	1,868,935
仕掛品	1,140,507	1,171,757
原材料	174,493	189,699
その他	1,625,238	1,090,743
貸倒引当金	△1,133	△767
流動資産合計	21,906,505	20,416,725
固定資産		
有形固定資産	3,501,495	3,452,604
無形固定資産	343,796	324,089
投資その他の資産		
その他	1,436,383	1,470,565
貸倒引当金	△6,972	△7,999
投資その他の資産合計	1,429,410	1,462,566
固定資産合計	5,274,702	5,239,260
資産合計	27,181,207	25,655,986
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,166,758	8,774,087
短期借入金	26,125	―
1年内返済予定の長期借入金	390,680	379,416
未払法人税等	212,214	187,406
賞与引当金	28,685	36,665
その他の引当金	38,092	36,002
その他	2,895,698	1,808,721
流動負債合計	12,758,256	11,222,299
固定負債		
長期借入金	1,380,643	1,201,310
退職給付引当金	1,514,706	1,600,279
資産除去債務	44,764	45,111
その他	222,052	242,251
固定負債合計	3,162,166	3,088,951
負債合計	15,920,423	14,311,251

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,200,708	2,200,708
資本剰余金	2,482,896	2,482,896
利益剰余金	6,862,207	6,851,465
自己株式	△76,492	△30,567
株主資本合計	11,469,320	11,504,502
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△20,432	25,765
繰延ヘッジ損益	2,299	△320
為替換算調整勘定	△193,768	△188,579
その他の包括利益累計額合計	△211,901	△163,134
少数株主持分	3,366	3,366
純資産合計	11,260,784	11,344,734
負債純資産合計	27,181,207	25,655,986

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	21,673,466	18,666,964
売上原価	16,976,051	14,595,207
売上総利益	4,697,414	4,071,757
販売費及び一般管理費	3,841,057	3,787,440
営業利益	856,357	284,316
営業外収益		
受取利息	3,318	3,590
受取配当金	9,279	5,782
為替差益	4,725	17,224
違約金収入	－	29,200
雑収入	24,555	30,506
営業外収益合計	41,878	86,303
営業外費用		
支払利息	25,625	23,653
手形売却損	3,517	3,148
雑損失	6,451	6,395
営業外費用合計	35,594	33,197
経常利益	862,640	337,422
特別利益		
固定資産売却益	90	2,127
貸倒引当金戻入額	59,046	－
特別利益合計	59,136	2,127
特別損失		
固定資産除売却損	2,290	406
投資有価証券評価損	－	168
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	37,331	－
特別損失合計	39,621	574
税金等調整前四半期純利益	882,155	338,974
法人税、住民税及び事業税	145,876	169,908
法人税等調整額	12,934	14,718
法人税等合計	158,811	184,627
少数株主損益調整前四半期純利益	723,344	154,347
四半期純利益	723,344	154,347

(四半期連結包括利益計算書)
(第２四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成23年１月１日 至　平成23年６月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	723,344	154,347
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31,542	46,197
繰延ヘッジ損益	△2,348	△2,620
為替換算調整勘定	4,665	5,189
その他の包括利益合計	△29,225	48,767
四半期包括利益	694,119	203,114
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	694,119	203,114
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	882,155	338,974
減価償却費	169,893	177,852
受取利息及び受取配当金	△12,598	△9,372
支払利息	25,625	23,653
固定資産除売却損益（△は益）	2,199	△1,720
投資有価証券評価損益（△は益）	－	168
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	37,331	－
売上債権の増減額（△は増加）	△757,742	△420,075
たな卸資産の増減額（△は増加）	△203,490	19,581
前渡金の増減額（△は増加）	△115,718	441,628
仕入債務の増減額（△は減少）	579,866	△408,818
前受金の増減額（△は減少）	606,036	△938,022
引当金の増減額（△は減少）	36,580	91,338
その他	△86,972	4,371
小計	1,163,168	△680,441
利息及び配当金の受取額	12,734	9,326
利息の支払額	△26,074	△25,373
法人税等の支払額	△37,912	△194,710
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,111,916	△891,198
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△34,741	△77,082
有形固定資産の売却による収入	225	4,779
投資有価証券の取得による支出	△9,289	△9,746
その他	6,714	△1,351
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37,091	△83,400
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△130,000	△26,831
長期借入金の返済による支出	△110,717	△190,596
自己株式の売却による収入	26,525	28,253
配当金の支払額	△108,915	△164,995
その他	△58,278	△57,215
財務活動によるキャッシュ・フロー	△381,386	△411,385
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,540	8,143
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	697,979	△1,377,841
現金及び現金同等物の期首残高	5,959,038	7,294,920
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,657,017	5,917,079

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等
Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（自 平成23年１月１日 至 平成23年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	電子機器及び部品	製造装置	国内子会社	海外子会社	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,281,197	6,513,276	1,157,200	1,721,792	21,673,466	－	21,673,466
セグメント間の内部売上高又は振替高	684,965	130,234	1,583,928	105,686	2,504,814	△2,504,814	－
計	12,966,162	6,643,510	2,741,128	1,827,478	24,178,280	△2,504,814	21,673,466
セグメント利益又は損失（△）	689,590	272,517	166,085	△26,528	1,101,664	△245,307	856,357

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△245,307千円には、セグメント間取引消去25,440千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△270,747千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間（自 平成24年１月１日 至 平成24年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	電子機器及び部品	製造装置	国内子会社	海外子会社	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,382,750	5,713,240	1,131,361	1,439,612	18,666,964	－	18,666,964
セグメント間の内部売上高又は振替高	479,156	43,184	1,119,547	83,580	1,725,468	△1,725,468	－
計	10,861,907	5,756,424	2,250,908	1,523,192	20,392,433	△1,725,468	18,666,964
セグメント利益又は損失（△）	253,752	227,313	63,160	△35,612	508,614	△224,298	284,316

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△224,298千円には、セグメント間取引消去33,761千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△258,059千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。